

**大和町第五次総合計画に基づく実施計画（前期計画）重点プロジェクト
（まち・ひと・しごと創生総合戦略）事業の令和4年度の実施状況について**

令和5年9月

大和町まちづくり政策課

目 次

1. 概要	1
2. 重点プロジェクト(総合戦略)の体系	1
3. 重点プロジェクト(総合戦略)の事業評価	2
基本目標1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる	2
① 農業環境整備事業	3
② 農業生産基盤整備事業	4
③ 割増商品券発行事業	5
④ 地域産業支援事業	6
⑤ 企業立地奨励事業	7
⑥ 企業誘致事業	8
⑦ 雇用機会掘り起し事業	9
⑧ 中心市街地整備事業(吉岡西部土地区画整理事業)	10
基本目標2. 大和町への新しいひとの流れをつくる	11
⑨ 吉岡小学校改築事業	12
⑩ 学校ICT環境整備事業	13
⑪ 子育て支援住宅整備事業	14
⑫ 子育て世帯等移住・定住応援事業	15
⑬ 高等学校等通学応援事業	16
⑭ ひとづくりプロジェクト	17
基本目標3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる	18
⑮ 縁結び応援事業	19
⑯ 地域福祉活動活性化事業	20
⑰ あんしん子育て医療費助成事業	21
⑱ 第3子以降の育児支援事業	22
⑲ 出産祝い品贈呈事業	23
⑳ 病後児保育事業	24
㉑ 高齢者福祉事業	25
㉒ 障害者自立支援給付・地域生活支援事業	26
㉓ 健康増進事業	27
㉔ 児童支援センター運営事業	28
㉕ みんなで遊び場どうじょ	29
基本目標4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	30
㉖ にぎわい創出事業	31
㉗ セツ森湖周辺再整備事業	32
㉘ 歴史資源を活用した観光PR活動	33
㉙ 県営林道整備事業負担金	34
㉚ スポーツ振興事業	35
㉛ まちづくり人材育成事業	36
㉜ 公共下水道施設(汚水)のアセット(ストック)マネジメント及び耐震化の推進	37
㉝ 水害減災プロジェクト	38
㉞ 田んぼダム推進事業	39
㉟ 防犯対策推進事業	40
㊱ 公共施設の適正管理(公共施設の長寿命化など)	41
4. 重点プロジェクト(総合戦略)事業の重要業績評価指数(KPI)実績一覧	42
5. (参考)大和町各種統計資料	44

1. 概要

本町では、人口減少及び少子高齢化の進行に対応するとともに、首都圏等への過度な人口の集中を抑制することで、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持していく「地方創生」への取組を促進するため、平成28年2月に「大和町まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「総合戦略」という。)」を策定しました。

令和4年3月には総合戦略を「重点プロジェクト」として包括した「大和町第五次総合計画」を策定し、「七ツ森の輝く緑 元気なくらしが広がる 大和町 〜しあわせめぐるまち たいわ〜」の将来像の下、元気にぎわいが町全体にあふれていくことを目指したまちづくりを進めているところです。

重点プロジェクト(総合戦略)は、将来のまちづくりを創造する重要な計画で、掲載されている事業については着実に実施するとともに、毎年、数値目標等を基に効果を検証し、必要に応じて総合戦略を改訂することを国から求められています。これを受けて町では、毎年総合計画審議会にて事業の評価・検証を行い、進行管理(PDCAサイクル)を実施していきます。

2. 重点プロジェクト(総合戦略)の体系

基本目標1:大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる

(1)農山村にぎわい醸成プロジェクト(2事業)

- ▷ 農業環境整備事業
- ▷ 農業生産基盤整備事業

(2)新たな活力創出プロジェクト(6事業)

- ▷ 割増商品券発行事業
- ▷ 地域産業支援事業
- ▷ 企業立地奨励事業
- ▷ 企業誘致事業
- ▷ 雇用機会掘り起し事業
- ▷ 中心市街地整備事業

基本目標2:大和町への新しい人の流れをつくる

(1)交流促進プロジェクト(5事業)

- ▷ 吉岡小学校改築事業
- ▷ 学校ICT環境整備事業
- ▷ 子育て支援住宅整備事業
- ▷ 子育て世帯等移住・定住応援事業
- ▷ 高等学校等通学応援事業

(2)子どもまちづくりプロジェクト(1事業)

- ▷ ひとづくりプロジェクト

基本目標3:大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1)安心生活サポートプロジェクト(9事業)

- ▷ 縁結び応援事業
- ▷ 地域福祉活動活性化事業
- ▷ あんしん子育て医療費助成事業
- ▷ 第3子以降の育児支援事業
- ▷ 出産祝い品贈呈事業
- ▷ 病後児保育事業
- ▷ 高齢者福祉事業
- ▷ 障害者自立支援給付等事業
- ▷ 健康増進事業

(2)子どもの居場所づくりプロジェクト(2事業)

- ▷ 児童支援センター運営事業
- ▷ みんなで遊び場どうじょ

基本目標4:ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

(1)にぎわい創出プロジェクト(6事業)

- ▷ にぎわい創出事業
- ▷ 七ツ森湖周辺再整備事業
- ▷ 歴史資源を活用した観光PR活動
- ▷ 県営林道整備事業負担金
- ▷ スポーツ振興事業
- ▷ まちづくり人材育成事業

(2)安全で安心できるまちづくりプロジェクト(5事業)

- ▷ 公共下水道施設のアセットマネジメント及び耐震化の推進
- ▷ 水害減災プロジェクト
- ▷ 田んぼダム推進事業
- ▷ 防犯対策推進事業
- ▷ 公共施設の適正管理等

3. 重点プロジェクト(総合戦略)の事業評価

重点プロジェクト評価シート〔総括表〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる				
内容	豊かな町土を良好に維持しながら、企業誘致の強化と交通条件等の優位性を活かした産業の集積を図るとともに、新規起業の創出を促進し、多様な事業活動ができるまちをつくる。				
数値指標	製造業従業者数(宮城県工業統計調査)			単位:人	
現状値／目標値	基準値【R1】	8,119人	／	目標値【R8】	11,900人
実績値	R4:8,677人	R5: 人	R6: 人	R7: 人	R8: 人

プロジェクト名	(1)農山村にぎわい醸成プロジェクト				
内容	農業生産基盤等の充実とともに、6次産業化推進に向けた支援や外部からの来町者、新規就農者の獲得を目指し、農業の活性化によるにぎわいのあるまちをつくる。				
総括	C:予定通り達成できた				
プロジェクトを構成する事業	①農業環境整備事業(p3)	達成率	-32.1%	事業評価	C
	②農業生産基盤整備事業(p4)	達成率	0.0%	事業評価	C
		達成率		事業評価	
		達成率		事業評価	

プロジェクト名	(2)新たな活力創出プロジェクト				
内容	産業の集積を引き続き推進するとともに、空き家・空き店舗などを活用した新規起業への支援など多様な就業機会を創出し、活力ある産業のまちづくりに取り組む。				
総括	C:予定通り達成できた				
プロジェクトを構成する事業	③割増商品券発行事業(p5)	達成率	88.6%	事業評価	C
	④地域産業支援事業(p6)	達成率	54.5%	事業評価	C
	⑤企業立地奨励事業(p7)	達成率	150.0%	事業評価	C
	⑥企業誘致事業(p8)	達成率	100.0%	事業評価	C
	⑦雇用機会掘り起し事業(p9)	達成率	72.0%	事業評価	C
	⑧中心市街地整備事業(吉岡西部土地区画整理事業)(p10)	達成率	0.0%	事業評価	C

※ 総括及び事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,

D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(1) 農山村にぎわい醸成プロジェクト
事業名	① 農業環境整備事業
所管課	農林振興課
事業概要	農地の効率的な利用を推進し、生産性の高い農業を確立するために農業生産基盤環境の維持補修や整備に対する費用の一部を助成するもの。
事業の効果等	農作業の効率化を図るため、畦畔の撤去、田面均平作業等及び農業用道水路の簡易的な整備について農家及び農業関係組織、水利組合等に農業生産基盤の整備を支援することで作付け条件向上が図られる。 農地の効率的な利用と農業用施設及び農業周辺環境の維持管理が適正に行われることが期待され、荒廃農地の発生防止にも寄与している。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		水田における作付率				単位: %
基準値／目標値		基準値【R1】(A) 92.2%		目標値【R8】(B) 95%		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	91.30%				
	達成率 (C-A/B-A)	-32.1%				
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
実績に対する 所見等		耕作条件が向上しているものの、農業者の高齢化や担い手の減少が進んでおり、作付率の低下が見られる。				
事業の課題・ 改善内容等		令和4年度は45件の申請があり、農家や水利組合等でも関心の高い事業となっている。また令和5年度も23件(8/1現在)の交付申請があり、問い合わせも多くなっている。 令和5年度は田んぼダム推進のための排水柵整備分を追加措置した。(200箇所×@30,000円×1/2=3,000千円)				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	B: 拡充継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(1) 農山村にぎわい醸成プロジェクト
事業名	②農業生産基盤整備事業
所管課	農林振興課
事業概要	農地の再整備を行い集積し、担い手農家の確保・育成と中山間地域での農業経営者の所得向上を図るもの。 吉田地区土地改良事業として農業生産基盤整備事業と連携したICT化(スマート農業)を推進することで農業経営の大規模化を促進し、作業効率を向上を図り、高収益作物を含めた複合経営(野菜の直売等)を推進することで農業経営者の所得向上を図るもの。 吉田川流域国営土地改良事業の促進を図るもの。
事業の効果等	吉田地区の山間地の農地を整備することで、1集落1農業法人の設立を目標にして、稲作と園芸を組み合わせ、担い手への農地の集積・集約を図りながら所得向上を図るもの。 吉田川流域国営土地改良事業については流域治水の取り組みと併せて、2市3町の19箇所の排水機場において、一斉に排水施設の機能向上や再編整備を行い一元管理することにより、人家や農地の湛水被害軽減と維持管理軽減を図り、町民の生命と財産の安全、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するもの。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		農地集積率(水田ビジョン)				単位: %
基準値／目標値		基準値【R1】(A) 77.6%		目標値【R8】(B) 80%		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	77.6%				
	達成率 (C-A/B-A)	0.0%				
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
実績に対する所見等		調査事業のため、まだ農地の集積には至っていないが、地区の話合いは進んでいる。				
事業の課題・改善内容等		吉田地区には土地改良区がないので大和町土地改良区と編入時期、賦課金等について、引き続き協議が必要となる。 吉田川流域国営土地改良事業については、令和5年度から国営事業調査地区の採択となり、町内4排水機場の改修については、受益者負担無しで事業が行われる見込みである。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(2) 新たな活力創出プロジェクト
事業名	③割増商品券発行事業
所管課	商工観光課
事業概要	大和町経済の発展と消費の町外流出防止策として割増商品券の発行事業を行う。大和町商店街は、住民の減少や高齢化の進行による購買力の減退のほか、「ヨークベニマル」「しまむら」「ヤマザワ」「薬王堂」「ツルハドラッグ」「ウジェスーパー」など郊外型店舗の進出により商店街の衰退が顕著になってきている。 このような中、町内商店街で使用できる割増商品券を発行することにより町外での購買流出を抑え、商店街の活性化を図るもの。 また、新型コロナウイルス感染拡大への懸念から、消費意欲の低下が見られるため、消費喚起を図るため引き続き支援するもの。
事業の効果等	消費者の町内での購買意欲と町外流出防止、加えて町の経済の発展に寄与する。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		利用店舗数				単位: 店舗
基準値／目標値		基準値【R1】(A)		目標値【R8】(B)		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	5店舗				
	達成率 (C/B-A)	14.3%				
累計	実績値(D)	96店舗				
	達成率 (D-A/B-A)	88.6%				
実績に対する所見等		令和4年度の新規利用店舗は5店舗あり、目標に向けて着実に増加している。引き続き、利用店舗数の増加に向けて周知等に努めていきたい。				
事業の課題・改善内容等		新規取扱店舗数拡大、キャッシュレス商品券の導入など検討する必要がある。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(2) 新たな活力創出プロジェクト
事業名	④地域産業支援事業
所管課	商工観光課
事業概要	地域資源を活かし魅力ある商店街の形成の為、空き店舗への助成の他、商品開発など様々なニーズに対応できる多様な支援制度を創設することにより、既存商店の販路拡大や集客効果を高めるためのイメージアップを見込んだ店舗改装等の支援を図るもの。 また、起業家に対しては創業時に負担となる、店舗の改修費及び家賃の補助を行い、支援を図るもの。
事業の効果等	商店街のニーズに沿った支援を行うことにより、集客力と町内の回遊性を高め商店街の活性化を図り、大和町の魅力を発信しまち全体の活性化につなげる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		起業・活動促進補助事業の利用件数				単位:件
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27～R1の累計)		目標値【R8】(B) (H27～R8の累計)		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	5件				
	達成率 (C/B-A)	45.5%				
累計	実績値(D)	16件				
	達成率 (D-A/B-A)	54.5%				
実績に対する 所見等		開始当初は飲食店が大半を占めていたが、小売等の利用者も増えてきている。今後もPRに努める。				
事業の課題・ 改善内容等		商品開発事業については申し込みがなかったため、補助内容等の見直しを行い、商品開発にチャレンジする事業者の支援したい。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	B: 拡充継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(2) 新たな活力創出プロジェクト
事業名	⑤企業立地奨励事業
所管課	商工観光課
事業概要	町内の指定区域に立地し、要件を満たす企業に対する企業立地奨励金等を交付するもの。
事業の効果等	企業誘致優遇制度により企業誘致が促進され、雇用機会の創出や地域経済の活性化が図られ、中長期的には町税の増収も見込まれる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		利用事業所数				単位:事業所
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計)		目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	0事業所				
	達成率 (C/B-A)	0.0%				
累計	実績値(D)	41事業所				
	達成率 (D-A/B-A)	150.0%				
実績に対する 所見等		大和リサーチパーク完売により減少傾向にある。誘致活動を積極的に展開する必要がある。				
事業の課題・ 改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(2) 新たな活力創出プロジェクト
事業名	⑥企業誘致事業
所管課	商工観光課
事業概要	立地企業の関連企業及びサプライヤーに対し町独自の企業訪問を行い積極的な企業誘致を行うもの。 また、セミナー等へも独自で出店し誘致活動を推進していくもの。
事業の効果等	企業の立地に伴い雇用機会の創出や従業員の町内定住により地域経済の活性化が図られ、中長期的には町税の増収も見込まれる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		企業立地数(残区画数)				単位: 区画
基準値／目標値		基準値【R1】(A) 4区画		目標値【R8】(B) 2区画		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	2区画				
	達成率 (A-C/A-B)	100.0%				
累計	実績値(D)	-				
	達成率	-				
実績に対する所見等		令和4年度より企業訪問を通常通り再開, 投資環境のPRを行った。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(2) 新たな活力創出プロジェクト
事業名	⑦雇用機会掘り起し事業
所管課	商工観光課
事業概要	多くの企業が立地し操業を開始している。着実に雇用の場の確保は整ったが、近年特に企業が人材の確保に苦慮している。町内企業への将来的な雇用サポートが必要な時期に来ており、町内の学校各世代で企業との関係性を築く取り組みを実施するもの。 立地決定段階において奨励金フローチャートを作成し、早期創業について要請。また、黒川高等学校において地元企業説明会を実施するもの。 町内企業による工場見学及びものづくり体験（オープンファクトリー）を実施するもの。
事業の効果等	町内企業への雇用が増加し人口の流出を防ぐとともに町内企業の生産性が向上し税収の増加にもつながる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		地元雇用者数(黒川高等学校)(人/年)				単位:人
基準値/目標値		基準値【R1】(A) 〈H27~R1の累計〉	18人	/	目標値【R8】(B) 〈H27~R8の累計〉	100人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	35人				
	達成率 (C/B-A)	42.7%				
累計	実績値(D)	77人				
	達成率 (D-A/B-A)	72.0%				
実績に対する 所見等		卒業生の就職実績が増え年々地元製造業への就職者が増えている。				
事業の課題・ 改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	1. 大和町の立地条件・資源を活かし、安心して働ける地域をつくる
プロジェクト名	(2) 新たな活力創出プロジェクト
事業名	⑧ 中心市街地整備事業(吉岡西部土地区画整理事業)
所管課	都市建設課
事業概要	吉岡西部地区を土地区画整理事業により、工業・流通系の業務地として整備を図るとともに、宮城県にて整備が予定されている北四番丁大衡線と併せて都市計画道路吉田落合線の4車線化整備を図るもの。
事業の効果等	幹線道路の整備と一体となった工業・流通業務地の整備に向けた事業実施のための法手続きが進められた。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		進捗率				単位: %
基準値／目標値		基準値【R1】(A)	0%	／	目標値【R8】(B)	70%
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	0				
	達成率 (C/B-A)	0.0%				
累計	実績値(D)	0				
	達成率 (D-A/B-A)	0.0%				
実績に対する所見等		令和4年11月16日に工事等の契約を行い、現在、造成準備をしており今後進捗が図られる。				
事業の課題・改善内容等		保留地の購入申し入れが現在1社のみであり、今後、保留地処分方法が課題となる。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

重点プロジェクト評価シート〔総括表〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる				
内容	多様な世代の生活スタイルに対応するとともに、学力の向上や交流の拡大、豊かな心を育む環境等の充実を図り、移住・定住の促進と次世代を担う子どもの「ひとづくり」に取り組む。				
数値指標	社会増加数(住民基本台帳に基づく人口移動調査年報)			単位:人	
現状値／目標値	基準値【R1】	72人	／	目標値【R8】	50人
実績値	R4:175人	R5: 人	R6: 人	R7: 人	R8: 人

プロジェクト名	(1) 交流促進プロジェクト				
内容	教育・学習関連施設の機能充実などにより、人々が学び、多様な交流が生まれるとともに、町民がいつまでも学べるまちをつくる。				
総括	C: 予定通り達成できた				
プロジェクトを構成する事業	⑨吉岡小学校改築事業(p12)	達成率	11.0%	事業評価	C
	⑩学校ICT環境整備事業(p13)	達成率	43.2%	事業評価	C
	⑪子育て支援住宅整備事業(p14)	達成率	126.4%	事業評価	C
	⑫子育て世帯等移住・定住応援事業(p15)	達成率	43.2%	事業評価	B
	⑬高等学校等通学応援事業(p16)	達成率	41.2%	事業評価	B
		達成率		事業評価	

プロジェクト名	(2) 子どもまちづくりプロジェクト				
内容	地域社会や各教育機関における多様な連携を構築し、多才な「人財」が育つまちづくりに取り組む。				
総括	C: 予定通り達成できた				
プロジェクトを構成する事業	⑭ひとづくりプロジェクト(p17)	達成率	21.4%	事業評価	C
		達成率		事業評価	
		達成率		事業評価	
		達成率		事業評価	
		達成率		事業評価	

※ 総括及び事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,

D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる
プロジェクト名	(1) 交流促進プロジェクト
事業名	⑨ 吉岡小学校改築事業
所管課	教育総務課
事業概要	昭和48年3月築の吉岡小学校では老朽化が進んでいることから全面改築し、新しい校舎を建設するもの。
事業の内容と実績	基本設計を踏まえた実施設計を完了することができた。また、実施設計の成果を基に仮設校舎等の建築を進め、既存校舎からの引越しを行い、仮設校舎での学校運営をスタートすることができた。 なお、既存校舎等の解体工事に着手することができ、改築事業の全体的なスケジュールに大きな変更は無く進めることができています。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		進捗率				単位: %
基準値／目標値		基準値【R1】(A)		目標値【R8】(B)		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	11.0%				
	達成率(C/B-A)	11.0%				
累計	実績値(D)	11.0%				
	達成率(D-A/B-A)	11.0%				
実績に対する所見等		想定どおり進捗している。				
事業の課題・改善内容等		引き続き、既存校舎等の解体工事を実施し、令和5年8月末までの完了を目指す。また、解体工事完了後、新校舎の建築工事に着手できるよう計画的に準備を進め、全体的なスケジュールどおりの工事着手と進捗を目指す。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる
プロジェクト名	(1) 交流促進プロジェクト
事業名	⑩学校ICT環境整備事業
所管課	教育総務課
事業概要	デジタル教科書や問題データベース(問題集)を効果的に活用し、分かる授業の実践に取り組み、児童生徒の学習意欲と成績の向上を図るもの。 更に児童生徒の情報活用能力向上の為、1人1台の端末及び高速大容量の校内情報通信ネットワーク環境を構築し「GIGAスクール構想」の実現を図るもの。
事業の内容と実績	ICT環境をより安全で効果的に活用するため、GIGAスクールサポート業務の委託や端末の有効活用を目的とした研修会を実施し、教職員のスキルアップを図る等ソフト面の体制整備を行った。 また、授業支援システムの永久ライセンスの購入及び大型モニターの更新を行い、ハード面でもICT環境の整備を実施した。 さらに、校務支援の検討を行った。 これらの事業等を通し、教育現場でのICT活用の推進を図ることができた。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		デジタル教科書及び問題データベースの利用回数				単位:千回
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計)	209千回	／	目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)	600千回
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	53千回				
	達成率 (C/B-A)	13.6%				
累計	実績値(D)	378千回				
	達成率 (D-A/B-A)	43.2%				
実績に対する所見等		想定の増加率を上回る使用回数となっている。				
事業の課題・改善内容等		統合型校務支援システムを導入し、教育現場で課題となっている教員の働き方改革とICTを活用した個別最適な学びを実現させ、教員が児童生徒と向き合う時間や授業改善に努める時間を増やし、子どもたち一人一人に合った指導が行えるよう環境整備を図る。 また、昨年度同様に端末の有効活用を目的として、研修会を計画的に実施し、教職員のスキルアップを図り、教育の質向上を目指す。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	B: 拡充継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる
プロジェクト名	(1)交流促進プロジェクト
事業名	⑪子育て支援住宅整備事業
所管課	都市建設課
事業概要	市街地周辺地区への定住誘導を図るための子育て支援住宅を整備するもの。 (宮床・吉田・鶴巣・落合地区)
事業の内容と実績	建築した住宅のうち(37戸(令和5年4月1日以降入居予定含む))に入居しており、4地区(宮床, 吉田, 鶴巣, 落合)の児童数の減少の抑制及び人口の維持が図られている。(入居者37世帯138人／内小学生17人, 未就学児46人) また、コロナ禍で活動等が制限されているものの、地域活動等へ積極的に参加する入居者が増え、少しずつ地域に貢献している。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		入居率				単位:%
基準値／目標値		基準値【R1】(A)		目標値【R8】(B)		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	94.8%				
	達成率(C/B)	126.4%				
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
実績に対する所見等		入居者の都合による退去により、2室の空き部屋が生じているが、目標値は達成されている。				
事業の課題・改善内容等		社会情勢の影響による、資材高騰、一部機械等の不足に伴い、応札者が少なく、落札額も非常に高くなっている。				
事業評価 ※1		C:予定通り達成できた		取組方針 ※2	C:継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる
プロジェクト名	(1) 交流促進プロジェクト
事業名	⑫子育て世帯等移住・定住応援事業
所管課	まちづくり政策課
事業概要	人口が減少している周辺地区(宮床・吉田・鶴巣・落合)へ転入・転居する子育て世帯等を対象に、住宅取得やリフォーム費用の一部を「子育て世帯等移住・定住応援事業補助金」として助成し、若い世代の定住を促し、地域活力を維持することを目的に実施するもの。
事業の内容と実績	大和町周辺地域への若い世帯の定住を推進することにより、人口増加や学校教育(小学校機能)の維持、更には、地域コミュニティの活性化が期待できる。 令和4年度においては、9件の事業利用により、人口減少地域に転入13名の人口増があった。また、交付した9件のうち2件は三世帯同居であった。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		事業利用件数				単位:件
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計)	20件	／	目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)	57件
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	9件				
	達成率 (C/B-A)	24.3%				
累計	実績値(D)	36件				
	達成率 (D-A/B-A)	43.2%				
実績に対する所見等		引き続き、事業の周知に努めていきたい。				
事業の課題・改善内容等		令和4年度においては、9件(内訳:転入4件、転居5件)に補助金を交付した。 引き続き、町外・県外からの転入に結びつくよう、宮城県主催の移住フェアへの参加や、大和町HPやSNSなど町外へのPR活動により努めていきたい。				
事業評価 ※1		B: 予定以上に達成できた		取組方針 ※2	B: 拡充継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる
プロジェクト名	(1) 交流促進プロジェクト
事業名	⑬高等学校等通学応援事業
所管課	まちづくり政策課
事業概要	公共交通機関等を利用した高校生等の通学に係る応援と子育て支援の充実を図るため、日常的に路線バスや地下鉄などの公共交通機関(スクールバス含む)の定期券を購入して、通学している高校生に対して、定期券購入費用の一部を助成するもの。
事業の内容と実績	令和4年度においては103人の申請者に補助金を交付した。通学に要する費用の負担軽減を図ることにより、子育て世代の負担を軽減し、定住化の促進につながると考えられる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		事業利用者数				単位:件
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計)	345人	／	目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)	995人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	103人				
	達成率 (C/B-A)	15.8%				
累計	実績値(D)	613人				
	達成率 (D-A/B-A)	41.2%				
実績に対する所見等		対象前の中学3年生(保護者)へ向けたチラシの配布や広報たいわへの記事掲載など、申請者が増えるようにPR活動により努めていく必要がある。				
事業の課題・改善内容等		公共交通機関利用による環境負荷の軽減が図られる新型コロナウイルス感染症の影響に伴う臨時休校により、申請者数に大きな変化はないものの一人当たりの助成額が減少している。 また、居住地域により利用者の偏りが見られ、宮床、吉田、鶴巣、落合、もみじヶ丘地区の利用者が少ない。 その他、対象が高校生のみで、町外に通学する中学生等は対象外であり、対象者拡充の希望が寄せられているため、事業拡充に向けた検討が必要である。				
事業評価 ※1		B: 予定以上に達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	2. 大和町への新しいひとの流れをつくる
プロジェクト名	(2) 子どもまちづくりプロジェクト
事業名	⑭ひとづくりプロジェクト
所管課	教育総務課
事業概要	子どもたちの学力向上と豊かな心の育成を図るため、多様な学習の場の提供、学校教育支援を実施するもの。
事業の内容と実績	土曜学習「まほろば塾」は、新型コロナの状況等を踏まえ、町内2会場で開催し受講者の91.1%が第1志望校に合格した。(大和中42名、宮床中24名 計66名が受講) 志まなび塾は、全国的な新型コロナの状況等を踏まえ、国恩記を学ぶ町内研修及び町内進出企業の見学等全7回の研修を実施した。(中学1年生16名参加) 夢と希望と志を語る会は、新型コロナ拡大防止のため、対象を中学2年生のみに限定し実施した。各学校代表生徒による夢と希望と志をテーマとした意見発表や、東京パラリンピック出場選手の講演会を実施した。 林間教育は、自然観察や造形活動などに積極的に取り組み、仲間との交流を図った。(希望小学校5校 計21回開催) こころのプロジェクト「ユメセン」事業については、小学5・6年生を対象に、オンラインによりトップアスリートが自身の経験を児童に語りかける事で夢を持つことの大切さや困難に立ち向かうことの大切さを伝える事業を実施した。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標	事業参加児童・生徒数				単位:人
基準値／目標値	基準値【R1】(A) (H27~R1の累計)	5,667人	／	目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)	25,300人
実施状況	R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	2,347人			
	達成率 (C/B-A)	12.0%			
累計	実績値(D)	9,878人			
	達成率 (D-A/B-A)	21.4%			
実績に対する所見等	令和2・3年度においては、新型コロナの影響により事業の中止や縮小の状況があったものの令和4年度から概ね事業の実施が来ている。				
事業の課題・改善内容等	土曜学習「まほろば塾」では、引き続き、習熟度別にクラスを分けた授業を行い生徒の学力向上を図る。 志まなび塾は、国恩記に記された先人の志と、町内に工場を有するトヨタ自動車創業者の志を学び、豊かな人間性と志を持った人材を育成するため事業を継続し行う。 夢と希望と志を語る会は、対象を小学4年生、中学2年生とし、町の将来を担う児童生徒が、より将来への夢と希望と志をはぐくむ内容となるよう努め継続する。 林間教育は、自然を十分に活かした体験学習の機会を確保し、外部講師の派遣等を行い、児童の豊かな人間性を培う活動となるよう努める。 こころのプロジェクト「ユメセン」事業は、コロナの状況等を踏まえながら対面での開催に努める。				
事業評価 ※1	C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

重点プロジェクト評価シート〔総括表〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
内容	結婚・出産・育児の悩みや不安を解消するための集いの場づくりや子育てに要する経済的な負担の軽減を図り、安心して結婚・出産・子育てできるまちをつくる。				
数値指標	出生数(住民基本台帳に基づく人口移動調査年報)				単位:人
現状値／目標値	基準値【R1】	235人	／	目標値【R8】	300人
実績値	R4:196人	R5: 人	R6: 人	R7: 人	R8: 人

プロジェクト名	(1) 安心生活サポートプロジェクト					
内容	妊娠期から出産、子育て期などの母子サポートや健康増進サポート、福祉サポートなどを充実させ、町民のみなさんが健康で安心して暮らせるまちをつくる。					
総括	C: 予定通り達成できた					
プロジェクトを構成する事業	⑮縁結び応援事業(p19)	達成率	42.9%	事業評価	C	
	⑯地域福祉活動活性化事業(p20)	達成率	47.1%	事業評価	C	
	⑰あんしん子育て医療費助成事業(p21)	達成率	43.1%	事業評価	C	
	⑱第3子以降の育児支援事業(p22)	達成率	39.2%	事業評価	C	
	⑲出産祝い品贈呈事業(p23)	達成率	-18.5%	事業評価	C	
	⑳病後児保育事業(p24)	達成率	—	事業評価	C	
	㉑高齢者福祉事業(p25)	達成率	—	事業評価	C	
	㉒障害者自立支援給付・地域生活支援事業(p26)	達成率	—	事業評価	C	
	㉓健康増進事業(p27)	達成率	9.5%	事業評価	C	

プロジェクト名	(2) 子どもの居場所づくりプロジェクト					
内容	子どもが安心して健やかに過ごすことができる居場所をつくる。					
総括	C: 予定通り達成できた					
プロジェクトを構成する事業	㉔児童支援センター運営事業(p28)	達成率	33.0%	事業評価	C	
	㉕みんなで遊び場どうじょ(p29)	達成率	52.7%	事業評価	C	
		達成率		事業評価		

※ 総括及び事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1) 安心生活サポートプロジェクト
事業名	⑮縁結び応援事業
所管課	総務課
事業概要	町内在住・在勤者を対象に出会いの場を提供し、若い世代の人口増加に寄与するものであり、町の観光資源を活用した婚活イベント及び参加者の魅力向上のためのセミナーを開催するもの。 縁結び応援団(仲人ボランティア)を組織し、研修会等を開催し、仲人活動を推進する。また、応援者の仲介により成婚に至った場合には、応援者に対して成婚奨励金10万円を支給する。 黒川地区後継者対策推進協議会で結婚相談所を設置し、個別相談に応じることで結婚支援体制の強化を図る。
事業の内容と実績	婚活イベントを通して、異性間の出会いの機会を創出する。 町内の縁結びにちなんだ祭りや歴史等を活用することで「縁結びのまち」としてのアピールに寄与している。 縁結び応援者を養成することで、地域の中で適切なフォローや後押しをすることができ、成婚者増加が期待できる。 黒川地区後継者対策推進協議会で広域的に結婚相談事業に取り組むことで、相談件数の増加や、マッチングの機会の増加が見込まれる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		事業実施による婚姻人数				単位:人
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計) 14人		目標値【R8】(B) (H27~R8の累計) 28人		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	4人				
	達成率 (C/B-A)	28.6%				
累計	実績値(D)	20人				
	達成率 (D-A/B-A)	42.9%				
実績に対する所見等		本事業は出会いの機会を創出するものであるため、その後の成婚までのフォローは難しいのが現状である。				
事業の課題・改善内容等		出会いの機会を創出する事業であり、成婚までは長期的に見た事業のため、即時の実績・達成が見えづらいが、出会いの場の提供として多くの方に参加して頂ける事業内容を検討する必要がある。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1)安心生活サポートプロジェクト
事業名	⑩地域福祉活動活性化事業
所管課	福祉課
事業概要	地域の支え合いや協働など地域の福祉活動の活性化を目指した活動支援, ボランティア育成, 生き生きサロンの活動を元とした見守り訪問活動の充実を図るもの。
事業の内容と実績	社協だよりやウェブサイトを活用し, 社協の活動内容を紹介したり, 小学生を対象にした福祉教育を実施した。 生活支援コーディネーターを配置することで, 地域資源の発掘や地域課題の解決に向けた体制整備が図られる。 配食サービスや日常生活自立支援事業の実施, 生活資金の貸付を行うことで, 住み慣れた地域で自立した生活を送る手助けができる。 ボランティアに対する関心を高め, いつでも, どこでも, 誰でも参加できる体制整備に努めることで, 地域コミュニティの形成が図られる。 町内外の研修に参加することで, 民生委員・児童委員としての資質向上が期待できる。 高齢者が住み慣れた地域で人々とふれあう機会を提供することで, 高齢者の仲間づくり, 生きがいづくりの一助となる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		ボランティア登録数				単位:人
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計)		目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	1,099人				
	達成率 (C/B-A)	18.3%				
累計	実績値(D)	7,136人				
	達成率 (D-A/B-A)	47.1%				
実績に対する所見等		前年度の登録者数898人を上回っている。コロナ禍も3年目に突入し, コロナ対策をしつつ, ボランティア活動を再開する人が増えていると思われる。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1) 安心生活サポートプロジェクト
事業名	⑰あんしん子育て医療費助成事業
所管課	子ども家庭課
事業概要	出生から18歳に到達する日の属する年度の末日までの者の入院・通院費自己負担金を助成するもの。
事業の内容と実績	いつでも均しく必要な治療を子どもに受けさせることができる。 また、大和町では所得制限なく医療費助成を受けることができるため、子育て世帯の定住化を促進する効果が期待できる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		助成事業対象者数(15歳から18歳までの高校生相当年齢のみ)				単位:人
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計)	3,760人	／	目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)	9,000人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	782人				
	達成率 (C/B-A)	14.9%				
累計	実績値(D)	6,017人				
	達成率 (D-A/B-A)	43.1%				
実績に対する所見等		令和4年3月末現在との比較では、助成事業対象者数が微増である。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1) 安心生活サポートプロジェクト
事業名	⑱第3子以降の育児支援事業
所管課	子ども家庭課
事業概要	3人目以降の子が生まれた時及び3人目以降の子が小学校・中学校へ入学した時に、保護者に対し祝金や商品券を支給するもの。
事業の内容と実績	第3子の出生や小・中学校入学を祝福し、併せて多子世帯の保護者の経済的負担の軽減や町内への定住促進、町内での消費喚起に寄与する。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		第3子以降出生数				単位:人
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27～R1の累計)	262人	／	目標値【R8】(B) (H27～R8の累計)	540人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	25人				
	達成率 (C/B-A)	9.0%				
累計	実績値(D)	371人				
	達成率 (D-A/B-A)	39.2%				
実績に対する所見等		これまでは、ほぼ目標を達成できていたが、令和4年度は第3子出生数が減少傾向にある。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1)安心生活サポートプロジェクト
事業名	⑭出産祝い品贈呈事業
所管課	健康推進課
事業概要	次世代を担う子どもの出産を奨励し、新たに出生した子どもを祝福するための祝い品を贈呈するもの。
事業の内容と実績	子どものこころの健康づくり、子どもの健やかな育ちから保護者の育児不安の軽減を図ることを目的としており、絵本をツール(媒体)として親子のコミュニケーションを豊かにすることに寄与している。 R4年度にアンケートを実施した結果、祝い品として希望するものに、仕掛け絵本や音の鳴る絵本などの声が得られ、今年度の絵本の選定において参考とした。来年度においても出生した子どもを祝福し、親子での日々のコミュニケーションツールとして対象者に絵本を活用していただきながら、健全な子どもの発育を促していきたい。 R4年度贈呈件数:202件

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		対1,000人当たりの出生率				単位:%
基準値／目標値		基準値【R1】(A)	7.98%	／	目標値【R8】(B)	7.98%
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	6.9%				
	達成率(C/B-1)	-13.5%				
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
実績に対する所見等		アンケート等で出産祝い品に対する意見や感想を募り、子どもと保護者に活用していただけるような出産祝い品を贈呈できるよう、今後も努めていく。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C:予定通り達成できた		取組方針 ※2	C:継続	

※1 事業評価凡例

A:予定を大きく上回り達成できた, B:予定以上に達成できた, C:予定通り達成できた,

D:あまり達成できなかった, E:ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

A:積極的な拡充・強化, B:拡充継続, C:継続, D:縮小継続, E:完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1) 安心生活サポートプロジェクト
事業名	②病後児保育事業
所管課	子ども家庭課
事業概要	保育を必要とする乳幼児や小学生が病気の回復期で集団保育・登校が困難で、かつ家庭で見守り等が実施できない児童に対し一時的に保育を行い、保護者の就労の機会の確保を図るもの。
事業の内容と実績	保育を必要とする乳幼児や小学生が病気の回復期で集団保育・登校が困難で、かつ家庭で見守り等が実施できない児童に対し一時的に保育を行い、保護者の就労機会の確保を図るもの。 ・登録者数(令和5年3月末時点) 87人 ・年間利用者数 延べ71人

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		-					単位:
基準値／目標値		基準値【R1】(A)		／		目標値【R8】(B)	
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8	
単年	実績値(C)	-	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	-	
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	-	
実績に対する所見等		特になし。					
事業の課題・改善内容等		特になし。					
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1)安心生活サポートプロジェクト
事業名	②高齢者福祉事業
所管課	福祉課
事業概要	高齢者の自立した生活を支援するためのサービス, 事業を実施するもの。
事業の内容と実績	要援護高齢者(認知症や心身機能の低下などのため, 日常生活を営むうえで何らかの介護や支援を必要とする高齢者)や一人暮らしの高齢者等に, 自立した生活を送ることができるようなサービスを提供することで, 住み慣れた地域で暮らし続けることができる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		－					単位:
基準値／目標値		基準値【R1】(A)		／		目標値【R8】(B)	
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8	
単年	実績値(C)	－	－	－	－	－	
	達成率	－	－	－	－	－	
累計	実績値(D)	－	－	－	－	－	
	達成率	－	－	－	－	－	
実績に対する所見等		必要な方々へ各種サービスを提供している。					
事業の課題・改善内容等		特になし。					
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2		C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1)安心生活サポートプロジェクト
事業名	②障害者自立支援給付・地域生活支援事業
所管課	福祉課
事業概要	「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づく医療・給付・サービスを提供するもの。
事業の内容と実績	更生医療として高額な医療費負担をすることなく必要な医療を受けられている。 育成医療として高額な医療費負担をすることなく必要な医療を受けられることにより、障害児福祉の向上と、障害児を療育する若年世帯の負担の軽減された。 補装具費として障害のある方が安全な生活を送ることができている。 障害福祉サービス・障害児通所により、快適な生活が出来るようサービスを利用できている。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		－					単位：
基準値／目標値		基準値【R1】(A)		／		目標値【R8】(B)	
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8	
単年	実績値(C)	－	－	－	－	－	
	達成率	－	－	－	－	－	
累計	実績値(D)	－	－	－	－	－	
	達成率	－	－	－	－	－	
実績に対する所見等		特になし。					
事業の課題・改善内容等		特になし。					
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続		

※1 事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(1) 安心生活サポートプロジェクト
事業名	②健康増進事業
所管課	健康推進課
事業概要	健康たいわ21プランに基づき、町民一人ひとりが「自分の健康の維持・増進を自ら図る」という意識の向上を図るもの。
事業の内容と実績	明るく元気で生きたいわ「健康たいわ21プラン」(第2次計画)に掲げる重点健康項目に取り組むことにより、「健康寿命の延伸」、「健康格差の縮小」、「一次予防の重視」、「ソーシャルキャピタルの再構築」につながる。また壮年期死亡や要介護状態の人の減少、医療費の伸びの抑制などの効果が期待され、町民の健康に関する生活の質(QOL)向上につながった。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		健康教室の参加人数				単位:人
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計)	12,222人	／	目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)	26,000人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	678人				
	達成率 (C/B-A)	5.0%				
累計	実績値(D)	13,527人				
	達成率 (D-A/B-A)	9.5%				
実績に対する所見等		ポピュレーションアプローチを充実させることで、全体的な健康の底上げをしていくことが今後の課題。集団での健康教室以外にも、参加者が増えるような取り組みが必要である。				
事業の課題・改善内容等		健康課題として血圧・血糖値の有所見者の割合や運動習慣のない人の割合の高さがあげられている。まずは健診未受診者の割合を減らし健康状態の把握、重症化予防の取組を実施。合わせて死亡割合が約27%(県平均)であるがん予防について、がん検診の受診率や、精検受診率の向上に取り組む、健康寿命の延伸につなげていきたい。令和7年度より第3次プランとなることから、令和5年度に町民健康意識調査の実施、集計・分析を行う。その結果を反映し第3次プラン策定作業を令和6年度に行う。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(2) 子どもの居場所づくりプロジェクト
事業名	②4 児童支援センター運営事業
所管課	子ども家庭課
事業概要	次世代を担う子どもたちが健やかに育ち、保護者が安心して子育てできる環境づくりを支援するもの。
事業の内容と実績	子育て家庭の育児に対する不安感や悩みの解消を図り、児童の健全育成が促進される。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		児童支援センター利用者数				単位:人
基準値／目標値		基準値【R1】(A) 〈H27～R1の累計〉	39,003人	／	目標値【R8】(B) 〈H27～R8の累計〉	71,000人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	3,631人				
	達成率 (C/B-A)	11.3%				
累計	実績値(D)	49,555人				
	達成率 (D-A/B-A)	33.0%				
実績に対する 所見等		令和2年度以降コロナによる利用制限で利用者が減少した。				
事業の課題・ 改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	3. 大和町における結婚・出産・子育ての希望をかなえる
プロジェクト名	(2) 子どもの居場所づくりプロジェクト
事業名	㊸みんなで遊び場どうじょ！
所管課	生涯学習課
事業概要	地域と子どもをつなぐ場として、子どもから大人まで、安心できる居場所、時間を作ることを目的に、自由な交流の場を創設するもの。親子で遊び場での活動を楽しむことで、親子のふれあいの大切さを感じたり、参加者同士の交流を深めたりする。また、地域の大人が子どもたちの健やかな成長を見守り、子どもが生きる力を育む場となることを目指す。
事業の内容と実績	事業開始の令和元年度から4年が経過し、参加者は増加傾向にある。参加者は、思い思いの遊びを楽しむとともに、参加者同士の会話も生まれていることから、教育ふれあいセンターを拠点として、遊び場の創出、自由な交流の促進が図られている。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		遊び場どうじょ参加者数(年2回)				単位:人
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27~R1の累計)	29人	／	目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)	414人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	76人				
	達成率 (C/B-A)	19.7%				
累計	実績値(D)	232人				
	達成率 (D-A/B-A)	52.7%				
実績に対する所見等		特になし。				
事業の課題・改善内容等		現在は町内小学校全校児童やジュニア・リーダーサークル「五ツ森」等にチラシを配布することにより周知を図っており、未就学児や小学生のいる子育て世帯が多く参加している状況である。しかし、地域の大人の方の参加が少ないというのが現状であり、地域と子どもをつなぐ場としての役割を果たすためには、地域の方々への周知方法等についての検討が、今後、必要になると考えられる。 また、当該事業は、地域が主体となって実施していくことを最終目標としていることから、今後は、地域住民や地域で活動している団体等との連携に関する検討も必要になると考えられる。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

重点プロジェクト評価シート〔総括表〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
内容	豊かな自然や歴史など、まちの資源を活かしたまちおこしやスポーツのイベントなどを開催して元気なまちを発信し、町内外から人々が集い、多世代でにぎわう地域交流のまちをつくる。 さらに、頻発化・激甚化する自然災害に備え、人々が安全・安心に暮らすことができるまちをつくる。				
数値指標	観光客入込数(宮城県観光統計概要)			単位:人	
現状値／目標値	基準値【R1】	264,214人	／	目標値【R8】	320,000人
実績値	R4:275,052人	R5: 人	R6: 人	R7: 人	R8: 人

プロジェクト名	(1)にぎわい創出プロジェクト				
内容	豊かな自然資源を活かした観光振興や、図書館機能を有する多目的施設等の整備による中心市街地の活性化など、多くの人々の交流によるにぎわいのあるまちをつくる。				
総括	C:予定通り達成できた				
プロジェクトを構成する事業	㊼にぎわい創出事業(p31)	達成率	-	事業評価	D
	㊽七ツ森湖周辺再整備事業(p32)	達成率	27.2%	事業評価	C
	㊾歴史資源を活用した観光PR活動(p33)	達成率	67.3%	事業評価	C
	㊿県営林道整備事業負担金(p34)	達成率	67.8%	事業評価	C
	㊽〇スポーツ振興事業(p35)	達成率	81.8%	事業評価	B
	㊽①まちづくり人材育成事業(p36)	達成率	51.0%	事業評価	C

プロジェクト名	(2)安全で安心できるまちづくりプロジェクト				
内容	災害リスクへの備えを充実させるとともに、防災・減災への取り組みを引き続き推進し、安全で安心できるまちをつくる。 また、町民の暮らしを支えるインフラ等を適正に管理し、公共施設等の長寿命化等を図る。				
総括	C:予定通り達成できた				
プロジェクトを構成する事業	㊽②公共下水道施設(汚水)のアセット(ストック)マネジメント及び耐震化の推進(p37)	達成率	94.4%	事業評価	C
	㊽③水害減災プロジェクト(p38)	達成率	33.7%	事業評価	C
	㊽④田んぼダム推進事業(p39)	達成率	49.3%	事業評価	C
	㊽⑤防犯対策推進事業(p40)	達成率	42.9%	事業評価	C
	㊽⑥公共施設の適正管理(公共施設の長寿命化など)(p41)	達成率	-3.2%	事業評価	C

※ 総括及び事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,

D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(1)にぎわい創出プロジェクト
事業名	②6にぎわい創出事業
所管課	まちづくり政策課
事業概要	昨今、産業集積による人口増加や市街地の整備等が進む一方で、働き方の多様化に伴う放課後や週末の子ども達の安全安心な居場所・遊び場の整備、国恩記等の町の歴史文化の伝承、既成商店街の活性化、人と人が集える場、更には、図書館機能の整備等、様々なニーズを捉えた市街地の賑わい創出が課題になっていることから、そのような多面的な要素を取り入れた空間や施設の整備等を検討するもの。
事業の内容と実績	子どもの居場所の確保及び商店街の活性化、人と人が集える場所を確保し、にぎわいの創出を図る。 令和4年度においては、基本構想を策定するとともに、検討懇談会等の開催により町民の意見を伺った。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		-					単位:
基準値／目標値		基準値【R1】(A)		／		目標値【R8】(B)	
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8	
単年	実績値(C)	-	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	-	
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	-	
実績に対する所見等		候補地を2箇所に絞り検討を進めたが、沿道交通状況や敷地、駐車場などに対する検討懇談会等からの様々な意見を踏まえ、「図書館機能を有する複合施設」を建設することによる「にぎわい創出事業」を一旦白紙とした。 今後は、都市計画道路高田中町線の整備方針を含め、改めて吉岡地区の「既成市街地の活性化(にぎわい)」について、引き続き検討し進めることとする。					
事業の課題・改善内容等		これまで開催してきた各種会議等では、整備候補地への複合施設整備と「にぎわい創出」の関連性に対する疑問の意見が多く出された。 また、沿道交通状況等に関して課題が多くあったことから、道路整備方針等を策定し、そのことによる「商業地の活性化(にぎわい創出)」に向けた検討を行う必要がある。					
事業評価 ※1		D:あまり達成できなかった		取組方針 ※2		C:継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(1)にぎわい創出プロジェクト
事業名	㊹七ツ森湖周辺再整備事業
所管課	商工観光課
事業概要	七ツ森湖周辺の観光周遊の拠点を創出するため、四十八滝運動公園内でのオートキャンプ場整備や蛇石せせらぎ公園内での専用駐車場整備及びトイレの新設等を行うもの。
事業の内容と実績	観光資源の豊富な南川ダムの周遊の拠点とし、地域・経済の活性化が見込まれる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標	四十八滝運動公園の観光客入込数				単位:人
基準値／目標値	基準値【R1】(A) (H27～R1の累計)	1,419人	／	目標値【R8】(B) (H27～R8の累計)	4,000人
実施状況	R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	258人			
	達成率 (C/B-A)	10.0%			
累計	実績値(D)	2,120人			
	達成率 (D-A/B-A)	27.2%			
実績に対する所見等	令和4年度のキャンプ場オープン後はさらに多くの利用者が見込まれる。				
事業の課題・改善内容等	特になし。				
事業評価 ※1	C:予定通り達成できた		取組方針 ※2	B:拡充継続	

※1 事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(1)にぎわい創出プロジェクト
事業名	㊸歴史資源を活用した観光PR活動
所管課	生涯学習課
事業概要	伊達家ゆかりの歴史的資源を通して町の魅力を発信しイメージの向上を図るもの。
事業の内容と実績	旧宮床伊達家住宅や覚照寺(伊達家御廟)、宮床宝蔵など、宮床地区に所在するもののほか、天皇寺や吉岡八幡神社、九品寺、保福寺など、庁内には伊達家ゆかりの歴史的資源等が多数存在しているが、これらを含めた町全体の「文化財マップ」を令和5年度に作成し、ホームページを活用し広く庁内の文化財等をPRする予定としており、令和4年度はマップ作成にあたっての情報収集を行った。 また、宮床地区の伊達家関連の社会教育施設(旧宮床伊達家住宅、宮床宝蔵)に関しては、指定管理者による企画展等の開催にあたり町職員が助言を行うなど、指定管理者や地域の関係団体と協働で町の魅力発信を図った。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		来館者数				単位:人
基準値／目標値		基準値【R1】(A)		目標値【R8】(B) (H27~R8の累計)		10,000人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	2,337人				
	達成率 (C/B-A)	23.4%				
累計	実績値(D)	6,734人				
	達成率 (D-A/B-A)	67.3%				
実績に対する所見等		特になし。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C:予定通り達成できた		取組方針 ※2	C:継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(1)にぎわい創出プロジェクト

事業名	㊸県営林道整備事業負担金
所管課	農林振興課
事業概要	県営事業林道七ツ森湖泉ケ岳線の新設整備の促進を図るもの。
事業の内容と実績	人工林整備面積が約270ha(大和町側150ha, 仙台市側120ha)が拡大する。 周辺地は国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センターとの分収林契約220ha(大和町側120ha, 仙台市側100ha)が約20年後に返地され再造林等が行うことが可能となる。 素材運搬距離の短縮による木材運搬コストの低減が図られる。 南川ダム周辺から泉ケ岳への観光道路として交流人口の拡大が図られる。 災害時の代替道路の整備が行われる。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		林道延長				単位: km
基準値／目標値		基準値【R1】(A)	46.1km	／	目標値【R8】(B)	52.0km
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	50.1km				
	達成率 (C/B-A)	67.8%				
累計	実績値(D)	50.1km				
	達成率 (D-A/B-A)	67.8%				
実績に対する所見等		林道上嘉太神線が県から移管されたことにより総延長が増加した。また、林道七ツ森湖泉ケ岳線については令和4年度から工事着手している。				
事業の課題・改善内容等		市町村道を連絡する林道であることから県営事業での実施となり、令和4年度に接続する林道高倉線を町道認定したもの。 仙台市側の整備延長が計画より短くなっている(計画4km)ことから工期が前倒しされ早期完成も予想されること。また、観光道路の期待も高いことから国庫補助前倒しによる早期完成を県へ要望する。 県営整備林道ではあるが、町が用地・立木無補償の承諾を得る必要がある。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
 D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(1)にぎわい創出プロジェクト

事業名	③〇スポーツ振興事業
所管課	生涯学習課
事業概要	子どもから高齢者まで幅広い年代が参加し楽しめる「大和町スポーツフェア」や、新たな町民・市民参加型の「七ツ森ハーフマラソン大会」を開催することで、生涯スポーツの振興及び地域の活性化と交流人口の拡大を図るもの。
事業の内容と実績	スポーツフェアは、家族で参加し楽しめるスポーツイベントを開催し、家族のコミュニティ醸成と参加者の健康増進が図られた。374人の来場者があった。 七ツ森ハーフマラソン大会は、住民の健康増進と地域コミュニティの醸成の他、地域活性化と交流人口の拡大が図られた。1,778人の参加があった。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		参加者数				単位:人
基準値／目標値		基準値【R1】(A) (H27`R1の累計)	2,968人	／	目標値【R8】(B) (H27`R8の累計)	5,600人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	2,152人				
	達成率 (C/B-A)	81.8%				
累計	実績値(D)	5,120				
	達成率 (D-A/B-A)	81.8%				
実績に対する所見等		規模縮小のため人数は減少した。				
事業の課題・改善内容等		スポーツフェアは、令和4年度は健康支援課の「健康たいわ21」も同時に開催された。新型コロナウイルス感染症が発生する前のように、三密を気にすることなく大勢に参加いただくことは難しい状況であったが、今後、事業実施の際は感染防止策を取りながら行う必要がある。令和4年度の来場者数は374人であったが、子どもから高齢者まで家族でスポーツを楽しんでおり、スポーツの普及・振興と参加者の健康増進につながり、事業目的は果たしている。 七ツ森ハーフマラソン大会については、実行委員会での検討の結果、大会は継続しないことと決定した。				
事業評価 ※1		B: 予定以上に達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(1)にぎわい創出プロジェクト
事業名	③まちづくり人材育成事業
所管課	まちづくり政策課
事業概要	まちづくりに関する懇談会やワークショップ等を開催し、町民参画等によるまちづくり活動の推進を図るもの。
事業の内容と実績	令和4年度においては、にぎわい創出事業に係る検討懇談会を開催し、12名の町民等の参画を得た。町民等の意見を徴収することができた。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		参加人数				単位:人
基準値／目標値		基準値【R1】(A) 〈H27～R1の累計〉	46人	／	目標値【R8】(B) 〈H27～R8の累計〉	250人
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	12人				
	達成率 (C/B-A)	5.9%				
累計	実績値(D)	150人				
	達成率 (D-A/B-A)	51.0%				
実績に対する所見等		町民等の意見等を伺うことができる貴重な場であるので、活発な意見交換等ができるよう会議の運営等について配慮したい。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(2)安全で安心できるまちづくりプロジェクト
事業名	③公共下水道施設(汚水)のアセット(ストック)マネジメント及び耐震化の推進
所管課	上下水道課
事業概要	老朽化等により、下水道管の損傷が予想されることから、長寿命化や断水対策、公衆衛生環境の維持を図るため、管渠の布設替えや補強対策、マンホールの浮上防止対策など、耐震化を推進し、管理施設の強化を図るもの。
事業の内容と実績	生活排水及び産業活動による排水等を円滑に下流へ排除し、住民生活環境、産業活動環境及び公衆衛生の向上に資するもの。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		公共下水道施設(汚水)の調査済延長				単位:m
基準値／目標値		基準値【R1】(A)		目標値【R8】(B)		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	16,052m				
	達成率 (C/B-A)	94.4%				
累計	実績値(D)	16,052m				
	達成率 (D-A/B-A)	94.4%				
実績に対する所見等		調査を進めると共に、修繕改築が必要な箇所については実施に努める。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(2)安全で安心できるまちづくりプロジェクト
事業名	③水害減災プロジェクト
所管課	上下水道課
事業概要	市街地の排水路整備等を行い内水対策の強化を図るもの。
事業の内容と実績	雨水排水等を円滑に下流へ排除し、住民生活環境及び公衆衛生の向上に資するもの。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		公共下水道施設(雨水)の調査済延長				単位:m
基準値／目標値		基準値【R1】(A)	0m	／	目標値【R8】(B)	19,000m
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	6,400m				
	達成率 (C/B-A)	33.7%				
累計	実績値(D)	6,400m				
	達成率 (D-A/B-A)	33.7%				
実績に対する所見等		今後も定期的に調査を行い、安全で安心な施設整備を図る。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C:予定通り達成できた		取組方針 ※2	C:継続	

※1 事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(2)安全で安心できるまちづくりプロジェクト
事業名	③田んぼダム推進事業
所管課	農林振興課
事業概要	災害に強いまちづくりに向け、農業用施設としての排水機の改修・強化することで近年増加傾向にある豪雨時の雨水対策を図るもの。 水田の雨水貯留機能(田んぼダム)の取組推進のための水田排水口への調整装置を設置するなどして、水田地帯からの流出量の平準化を図るもの。
事業の内容と実績	仮に300haを取り組んだ場合の貯水量は60万m ³ となり、嘉太神ダム(70万m ³)と同等の治水効果が理論上は発揮される。 稲作には影響がないという研究結果はあるが、下流域のための田んぼダムであり、協力をいただくには、農家負担が掛からないよう支援が必要である。 今後は富谷北部土地改良区及び共同施行土地改良区域へも働きかけを行うもの。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		田んぼダム取組面積				単位:ha
基準値／目標値		基準値【R1】(A)		目標値【R8】(B)		300ha
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	129.4ha				
	達成率 (C/B-A)	43.1%				
累計	実績値(D)	148.0ha				
	達成率 (D-A/B-A)	49.3%				
実績に対する所見等		令和4年度分は129.4ha(累計148.0ha)のほ場について、各地区に田んぼダムの取組を依頼した。				
事業の課題・改善内容等		ロート型堰板設置の田んぼダムは、本町では、鶴巣地区の大和東部及び西川土地改良区域以外は、コンクリート製排水口が整備されておらず、ロート型堰板設置は困難であり、田んぼダム協力農家の理解を得ることが難しいことから、この2箇所のほ場約300ha及び小西川上流部の共同施行で土地改良を実施した鶴巣太田、幕柳地区等へも働きかけを行うもの、また、稲作の作業負担軽減の観点から畦畔等に除草剤を多用する傾向があることから、効果を発揮させるためには畦塗等の支援が必要である。 排水口が整備されていないほ場でも実施してもらうためには、排水口の整備への助成も必要であり、令和5年度から農業環境補整備助金に排水柵整備分を追加措置したもの。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(2)安全で安心できるまちづくりプロジェクト
事業名	㊸防犯対策推進事業
所管課	総務課
事業概要	町民が安全・安心して暮らすことのできる町の実現のため、防犯パトロール等を実施するもの。 また、地域の安全・安心の確保と犯罪抑止のための防犯カメラの設置、特殊詐欺対策電話機購入補助、犯罪被害者支援を実施するもの。
事業の内容と実績	防犯カメラは、住民にとっても「見守りカメラ」となるため、犯罪の抑制と住民への安心感を与える効果が期待される。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		防犯カメラ設置箇所数				単位:箇所
基準値／目標値		基準値【R1】(A)	12箇所	／	目標値【R8】(B)	26箇所
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	2箇所				
	達成率 (C/B-A)	14.3%				
累計	実績値(D)	18箇所				
	達成率 (D-A/B-A)	42.9%				
実績に対する所見等		毎年度2箇所設置することにしており、関係機関と協議し予定どおりに設置した。				
事業の課題・改善内容等		特になし。				
事業評価 ※1		C:予定通り達成できた		取組方針 ※2	C:継続	

※1 事業評価凡例

A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

事業評価シート〔事業調書〕

基本目標	4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
プロジェクト名	(2)安全で安心できるまちづくりプロジェクト
事業名	③⑥公共施設の適正管理(公共施設の長寿命化など)
所管課	財政課
事業概要	施設の長寿命化, 統廃合, 地域ごとの適正配置を検討するもの。
事業の内容と実績	適正な施設の統廃合や修繕, 改修等により長寿命化を図り, 長期的な施設管理に係る経費の平準化及び縮減を図るもの。 小規模ではあるが, 適正な修繕を行い, 施設の長寿命化を図ることができた。

重要業績評価指数(KPI)に関する事項

評価指標		町民1人当たりの公共施設の延床面積				単位:人
基準値／目標値		基準値【R1】(A)		目標値【R8】(B)		
実施状況		R4	R5	R6	R7	R8
単年	実績値(C)	3.90㎡				
	達成率 (1-C/B)	-3.2%				
累計	実績値(D)	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-
実績に対する所見等		子育て支援住宅整備による公共施設増加によるもの。 人口減少率比で公共施設面積を増減する目標だが, 施設の耐用年数(長寿命化を含む)を踏まえた統廃合となることから, 短期スパンでの実績確認は不可能である。				
事業の課題・改善内容等		施設利用者から大規模修繕の要望を受けるが, 現地調査を行い, 事業調整を行っている。 公共施設等総合管理計画(令和5年3月)し, 令和28年までに公共施設の延床面積を10%削減するよう施設の長寿命化計画及び統廃合を実施していく。				
事業評価 ※1		C: 予定通り達成できた		取組方針 ※2	C: 継続	

※1 事業評価凡例

- A: 予定を大きく上回り達成できた, B: 予定以上に達成できた, C: 予定通り達成できた,
D: あまり達成できなかった, E: ほとんど達成できなかった

※2 取組方針凡例

- A: 積極的な拡充・強化, B: 拡充継続, C: 継続, D: 縮小継続, E: 完了・廃止

4. 重点プロジェクト(総合戦略)事業の重要業績評価指数(KPI)実績一覧

上段:単年度
下段:累計

基本 目標	事業名	目標指標 (単位)	基準 R1	目標 R8	実績 R4	実績 R5	実績 R6	実績 R7	実績 R8	達成度
1 (1)	①農業環境整備事業	水田における作付率(%)	92.2	95	91.9					-10.7%
					-					-
	②農業生産基盤整備事業	農地集積率〔水田ビジョン〕(%)	77.6	80	77.6					0.0%
					-					-
1 (2)	③割増商品券発行事業	利用店舗数(店舗)	65	100	5					14.3%
					96					88.6%
	④地域産業支援事業	起業・活動促進補助事業の利用件数(件)	10	21	5					45.5%
					16					54.5%
	⑤企業立地奨励事業	利用事業所数(事業所/年)	38	40	0					0.0%
					41					150.0%
	⑥企業誘致事業	企業立地数〔残区画数〕(区画/年)	4	2	2					100.0%
2 (1)					-					-
	⑦雇用機会掘り起し事業	地元雇用者数〔黒川高等学校〕(人)	18	100	35					42.7%
					77					72.0%
	⑧中心市街地整備事業(吉岡西部土地区画整理事業)	進捗率(%)	0	70	0					0.0%
					0					0.0%
	⑨吉岡小学校改築事業	進捗率(%)	0	100	11					11.0%
					11					11.0%
2 (2)	⑩学校ICT環境整備事業	デジタル教科書及び問題データベースの利用回数(千回)	209	600	53					13.6%
					378					43.2%
	⑪子育て支援住宅整備事業	入居率(%)	70	75	94.8					126.4%
					-					-
	⑫子育て世帯等移住・定住応援事業	事業利用件数(件)	20	57	9					24.3%
					36					43.2%
	⑬高等学校等通学応援事業	事業利用者数(人)	345	995	103					15.8%
					613					41.2%
2 (2)	⑭ひとづくりプロジェクト	事業参加児童・生徒数(人)	5,667	25,300	2,347					12.0%
					9,878					21.4%
3 (1)	⑮縁結び応援事業	事業実施による婚姻人数(人)	14	28	4					28.6%
					20					42.9%
	⑯地域福祉活動活性化事業	ボランティア登録数(人)	4,304	10,323	1,099					18.3%
					7,136					47.1%
	⑰あんしん子育て医療費助成事業	助成事業対象者数(人)	3,760	9,000	782					14.9%
					6,017					43.1%
	⑱第3子以降の育児支援事業	第3子以降出生数(人)	262	540	25					9.0%
					371					39.2%

上段:単年度
下段:累計

基本 目標	事業名	目標指標 (単位)	基準 R1	目標 R8	実績 R4	実績 R5	実績 R6	実績 R7	実績 R8	達成度 (%)
3 (1)	⑲出産祝い品贈呈事業	対1,000人当たりの出生率(%)	7.98	7.98	6.9 -					-13.5% -
	⑳病後児保育事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	㉑高齢者福祉事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	㉒障害者自立支援給付・地域生活支援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	㉓健康増進事業	健康教室の参加人数(人)	12,222	26,000	678 13,527					5.0% 9.5%
3 (2)	㉔児童支援センター運営事業	児童支援センター利用者数(人)	39,003	71,000	3,631 49,555					11.3% 33.0%
	㉕みんなで遊び場どうじょ	事業参加者数(人)	29	414	76 232					19.7% 52.7%
	㉖にぎわい創出事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4 (1)	㉗七ツ森湖周辺再整備事業	四十八滝運動公園の観光客入込数(人)	1,419	4,000	258 2,120					10.0% 27.2%
	㉘歴史資源を活用した観光PR活動	来館者数(人)	0	10,000	2,337 6,734					23.4% 67.3%
	㉙県営林道整備事業負担金	林道延長(km)	46.1	52	50.1 50.1					67.8% 67.8%
	㉚スポーツ振興事業	事業参加者数(人)	2,968	5,600	2,152 5,120					81.8% 81.8%
	㉛まちづくり人材育成事業	事業参加人数(人)	46	250	12 150					5.9% 51.0%
	㉜公共下水道施設(汚水)のアセット(ストック)マネジメント及び耐震化の推進	公共下水道施設(汚水)の調査済延長(m)	0	17,000	16,052 16,052					94.4% 94.4%
	㉝水害減災プロジェクト	公共下水道施設(雨水)の調査済延長(m)	0	19,000	6,400 6,400					33.7% 33.7%
4 (2)	㉞田んぼダム推進事業	田んぼダム取組面積(ha)	0	300	129.4 148.0					43.1% 49.3%
	㉟防犯対策推進事業	防犯カメラ設置箇所数(箇所)	12	26	2 18					14.3% 42.9%
	㊱公共施設の適正管理(公共施設の長寿命化など)	町民1人当たりの公共施設の延床面積(m ²)	3.78	3.78	3.9 -					-3.2% -

5. (参考)大和町各種統計資料

項目	単位	H27 (総合戦略策定)	H30	R1	R2 (総合戦略改訂)	R3	R4 (総合計画統合)
人口(年度末)	人	28,485	28,467	28,442	28,311	28,156	28,098
男性	人	14,619	14,614	14,651	14,605	14,521	14,502
女性	人	13,866	13,853	13,791	13,706	13,635	13,596
出生数(年末)	人	323	266	230	235	186	196
世帯数	戸	11,180	11,776	11,967	12,092	12,148	12,342
町内製造業 従業者数	人	5,785	7,797	8,119	7,310	8,677	—
うち町民	人	—	1,142	1,213	1,274	1,305	1,385
町税総収入額	千円	5,009,534	6,744,666	5,738,603	6,096,812	5,903,931	7,163,871
純固定資産税	千円	2,625,396	2,958,417	3,395,353	3,705,479	3,821,206	3,921,304
住民税(個人)	千円	1,208,677	1,345,207	1,407,832	1,384,703	1,381,827	1,415,980
(法人)	千円	729,676	2,242,826	836,264	1,131,304	919,795	1,959,569
水稻作付面積	ha	1,427.00	1,414.00	1386	1,395.00	1,336	1,217
生産調整面積	ha	860.4	813.2	831.2	798.3	870.4	976.8
経営所得安定 対策対象数	戸	577	540	116	114	125	155
集団転作面積	ha	460.3	460.4	444.6	440	496.8	520.5
給水人口	人	27,023	27,201	27,130	27,088	26,974	26,980
給水戸数	戸	10,622	11,374	11,411	11,618	11,671	11,889
年間給水量	m ³	2,920,059	3,032,917	2,993,146	3,023,676	3,018,545	3,053,184